

## 岩井屋見学の感想

9月の下旬、丸2日間じっくりと岩井屋さんを見学させていただきました。理事長である岩井さんをはじめ、施設長や職員さん、関わっている方々から貴重なお話をたくさん聞くことができました。

特に印象的だったことは、一緒に食べたジンギスカンと赤ラベルのビール！！…ではなく、『弱い強い』ということと『つながり』の重要さでした。

理事長の岩井さんは、病気で身体に麻痺を持っています。自分ひとりで出来ないことがたくさんあります。きっとそれは一般的には『弱さ』になると思います。でも、彼はそれを活かして、地域の方々や外部の人や専門家とつながり、唯一の『岩井屋』という形を作っていると感じました。

ひとつの施設ですべてを完結させてしまうのではなく、地域の人々とつながることで地域の困りごとを聞き、病院や子どもの発達の専門家とつながり、協力してもらうことで、幅広いサポートをすることが出来ていました。また、こだわりのあるりんごジュースを売りたい農家さんと繋がり、販路を持っている岩井屋さんを通じて、おいしいりんごジュースがほしいお客さんにその品物が渡る。農家さんも、岩井屋さんも、お客さんも、すべての人がwinwinな関係だと感じました。これらの岩井さんの在り方というのは、出来ないことを（弱み）をさらけ出して、出来る人・得意な人に、それを託すことができるという岩井さんの在り方そのものなのだなと感じました。人は誰でも弱さを持っています。それをばれないように隠していると、それは弱さでしかありません。でも、弱さは、それを認めて人にさらけ出し、他人を信じ力を借りるということをすると、他を巻き込み自分ひとりでは出来ないような大きな力として発揮される、それは、ものすごく大きな強みになるのではないかと感じました。この強みこそが、岩井屋さん独自の色をだしているのだらうと思います。

見学では色々と案内していただいているうちに、あっという間に時間が過ぎて、実際に施設の利用者さんと関わる時間は多くはありませんでしたが、その中では、ゆったりとした心地良い時間が流れていたと感じました。職員の方々や利用者さんにも親切にしてください、とてもうれしかったです。

岩井さんが、現在働いている職員さんについて、「良い人しかいないんだ」と楽しそうに話されている姿がとても印象に残っています。

内容がぎっしり詰まった楽しくて刺激的な時間を過ごさせていただき、心から感謝しています。ぜひまた遊びに行きたいと思っています。